



東長崎

一ひがながプライド

HIGASHI NAGASAKI JHS

PRIDE

HIGASHI NAGASAKI JHS

自ら誇りと自信を持ち、率先して行動する

長崎市立東長崎中学校

学校だより 第16号

令和5年9月5日発行

副校長 宮崎国広

2学期スタート、始業式

9月1日、令和5年度の2学期がスタートしました。朝からの生徒たちの笑顔と元気なあいさつを受け、心地よいスタートを切ることができました。2学期は、1年間の中で最も長い学期です。1学期に引き続き、学校生活を進めていきたいと思っています。以下は、終業式での川本校長の挨拶です。

生徒のみなさんおはようございます。この夏は有意義なものとなったでしょうか。

さて、今日から2学期が始まります。この2学期について「東長崎 PRIDE」の下に生徒のみなさんが誇りと自信をもって行動できるように、自らの良い所は伸ばし、悪い所は改善しながら、自らの成長を実感できるようにしたいと考えています。

人は、自分の得意なことを伸ばすことやそのことを他の人から認められることは、大変うれしいものです。認め合い、褒めあって生活してください。学校生活はもっと楽しいものになると考えます。

一方で悪い所は、直しにくいものです。それ以前に悪いところが自分ではわからないで、他の人から言われて初めて気が付くこともあります。そこで、悪い所について正しく助言しあえる力をつけてほしいと考えます。助言とは助ける言葉です。悪い所を指摘するだけでは、助言とはなりません。ましてや言葉遣いが正しくなければ、悪口となり相手の心を傷つけることになります。友人としての助言とするためには、正しい言葉遣いで、悪い所を指摘するとともにどのように改善していけばいいのかについて提案したり、一緒に考えようとしたりする姿勢が必要です。指摘される側も、最後までしっかり話を聞いて考えることが大切です。

一学期のみなさんの様子を見ていて、言葉遣いが大変雑な人が多くなっていることが気になります。相手に正しく伝わるきちんとした言葉遣いができる中学生レベルになってほしいものです。

みんなが成長を実感できる輝く2学期にしていきましょう。

令和5年9月1日 長崎市立東長崎中学校 校長 川本哲也

2学期始業式での各学年代表のことば

< 3年生代表 >

今日から始まるこの2学期は、私たち3年生にとって、とても大切に過ごさなければならない学期です。

1学期の反省としては、時間にルーズであったり、物の破損や紛失があったりするなど、3年生としてふさわしくない状態があったことです。そして、それを自分たちで改善することができなかったことも、悔いが残る学期でした。ですから2学期はまず、3年生は時間をきちんと守ることを徹底していきましょう。これは当たり前ですが、受験を控えている私たちにとって、絶対に守らなければならないことでもあります。書類を期限内に提出できなかったり、受験会場に遅れたりすると、進路に大きな影響が出る事も考えられます。普段の生活から1, 2年生のお手本となる3年生だということ、そして受験生だということに 自覚を持って学校生活を送っていきましょう。

また、高校に繋がる成績の大半は1年生からこの3年生の2学期までの成績となります。したがって、今まで以上に定期テストや実力テストに力を入れて行かなければなりません。部活動を継続している人たちもいますが、本格的に受験勉強に切り替えて頑張っていかなければいけない時期です。きついときもあると思いますが、あと半年頑張れば、高校での楽しい生活が待っています。これからのテストや受験に向けて、みんなで支え合って頑張っていきましょう。そして2学期を振り返ったときに、いい反省ができるように目標に向かって3年生全員で協力して行きましょう。

< 2 年生代表 >

僕たち二年生は、「先輩力を創る」という学年目標のもと、一学期には体育大会や部活動など、先輩としての自覚を持つことを意識して過ごしてきました。しかし、一学期の反省をする中で「時間を守る」ことに課題があることを学年集会でも確認しました。また、一学期の最後には「あいさつは誰にでも、どこでも、何度でも」を心がけるようにしました。そこで、二学期には「時間・挨拶・先輩の自覚」という三つのことを意識して過ごしていきたいと思います。

一学期には僕たちが最も楽しみにしている修学旅行があります。修学旅行では時間を守ることはもちろん、修学旅行先でも東長生らしく明るくさわやかな挨拶を心がけていきます。

一学期は先輩として動く場面がさらに増えます。部活動では新チームになり、一年生が中心となって活動をしています。学校生活でも生徒会の引継ぎの時期がやってきます。先輩方がつないでくれた「東長崎ROCK」を受け継ぎ、後輩のお手本となることができるよう、自分の行動に責任をもって行動していきたいと思っています。

二年生のみなさん、「時間・あいさつ・先輩の自覚」を合言葉に充実した二学期にしていきたいと思います。

< 1 年生代表 >

私たち一年生にとって、初めての夏休みが終わり、今日から二学期のスタートです。小学校の時とは違って、夏休み中も部活動や、実力テストが行われることは初めての経験でした。

夏休みの中で、それぞれが色々な体験、経験を積み、一つ成長したのではないのでしょうか？ 夏休み前に、私たちは一学期を振り返り、反省し、二学期に向けて目標を立てました。

一学期は、人が話している時に私語があったり、集中できていない人が多かったと感じました。二学期はこの点に注意して、充実したより良い二学期が送れるようにしていきたいと思います。

一学期には合唱コンクールがあるので、本番に向けての練習が本格的に始まります。クラスが心を一つにして歌う合唱は歌う人も聞く人も共に感動ができると思うので自信を持って歌えるように頑張りたいです。

学習面では、教科によって提出期限が守れていない事がありました。きちんと提出期限が守れるように課題を終わらせたいです。

二学期は勉強・スポーツ・読書・芸術、たくさん事を学び、成長出来る事ができます。時間を守り、メリハリをつけ、目標を立て、楽しい学校生活を送りたいです。

最後に、先生方・先輩方、一学期も私たち一年生のご指導をよろしくお願い致します。

各学年代表の言葉に続き、生徒指導主事より話がありました。1 学期の反省から、①【名札着用100%】②【授業の約束3か条】（・2分前着席、1分間黙想の徹底 ・元気なあいさつ、分離礼 ・人の話は「ヘソ一心」で聞く）③専門部活動の活性化の再徹底が促されました。そして、2学期の重点目標である『安心できる環境(仲間づくり)』について話かなされ、代表挨拶と合わせ、生徒・職員全員が、目標達成に向け気持ちを新たにしました。

教育実習生実習スタート

9月1日から9月14日までの2週間と9月22日までの3週間、本校卒業生2名の教員志望者の大学生が教育実習に取り組みます。

学校の役割の一つに、教員を目指す学生を受け入れ、授業や担任業務を通して次代の教員を育成する役割があります。

2名の先生が、本校での実習を通して、今以上に教職に就くことに希望を持ち、将来、教員として頑張ってくれることを期待しています。

お願い

クロームブックの取扱いについて

1学期より、本校でもクロームブックの破損が数件ありました。特に家庭で多かった事例として、カバンにクロームブックと水筒を一緒に入れ、クロームブックが水没した。床やソファに置いていたクロームブックを踏みつけ画面が割れた。ペットが端末に噛みつきクロームブックが破損したなどがありました。

それら対策として、クロームブックと一緒に水気のあるもの(水筒等)をカバンに入れないようにする。クロームブックの水没は大雨の際の登下校でも考えられるため、大雨が予想される場合は、ビニール等に包んでカバンに入れるようにする。また、クロームブックは、机の上など安全な場所に置き、落下や踏みつけ、ペットから守る等の対応をお願いします。